



ミニバンの新たな楽しさ・使い勝手を創造する、 縦にも横にも開く「わくわくゲート」。

タイプ別設定

ユーティリティを追求するなかで、ミニバンのテールゲートはどんどん大型化してきました。もちろん大きな荷物をたくさん積み込む際には、とても便利なのですが、ふだん使いに、もっと使い勝手をよくできないか。そんな思いから、実際の生活行動のなかでの使われ方を徹底的に検証しました。そして生まれた新しい発想が、大きな縦開きのテールゲートに、よりフレキシブルに使える横開きのサブドアを設けることでした。テールゲート+サブドアで、縦にも横にも開く「わくわくゲート」。ミニバンユーザーの方なら、ひと目でその便利さに気付いていただける。自分たちならではの使い方を広げてもらえる。Hondaならではの、新提案です。



■ サブドアで、狭い場所での荷物の出し入れをもっとラクに。

ショッピングセンターの駐車場やご自宅のガレージなどで、壁や他のクルマとぶつかりそうで、テールゲートを開けられない。小柄な女性などの場合、開いたテールゲートに手が届かないことも。そうした日常での困りごとを一気に解決してくれるのが、サブドアの存在です。ドアの開度は、3段階。状況に応じて臨機応変に、便利に使いこなすことができます。

- ① 開度 35° / 開口幅 350mm / 後方突出量 400mm
12ロールのトイレットペーパー、2L飲料のケース、ベビーカーやボリタンクなどを無理なく出し入れできます。
 - ② 開度 57.5° / 開口幅 610mm / 後方突出量 640mm
荷物の出し入れはもちろん、3列目席への乗り降りにも利用できます。
 - ③ 開度 78°(全開) / 開口幅 830mm / 後方突出量 760mm
自転車を積み込めるほか、ベビーカーもたたまず、載せられます。
- 数値は、Honda測定値



サブドアは、荷物を出し入れする際の安全性はもちろん、壁際での出し入れのしやすさ、高速道路のサービスエリアなどの安全性に配慮し、左開きに。また女性や子どもでもラクに開けることができるよう、アウタードアハンドルの位置を低めに設定。閉める際の荷重もテールゲートの約1/2の軽さにしています。

■ サブドアは、人がラクに楽しく乗り降りする、新しい出入り口としても活躍。

従来のミニバンだと、3列目に座っている人は降りる際に、2列目の人が降りるまで待たなければなりません。サブドアを活用すれば、リアからの乗り降りが可能に。そのため、大人の女性がほとんど屈むことなく乗り降りできる開口の高さと、無理なく足をかけられる地上高に設定しています。またボディ側とドア側の両方にグリップを装備。子どもから高齢の方まで、ラクに乗り降りすることができます。



「わくわくゲート」の制御

- テールゲートとサブドアを同時に開けられないよう電子制御しています。● 室内から不要に開かないよう「開」ボタンは約1秒の長押し設定。ボタンは誤操作を防ぐため、グリップの下側に配置。● インナードアハンドルでサブドアを開けられるのは、次の場合です。・イグニションOFF時：車速ゼロで、運転席ロックとチャイルドロックが解除されていて、テールゲートが閉まっていること。・イグニションON時：シフト位置が「P」で、かつ車速ゼロ、運転席ロックとチャイルドロックが解除されていて、テールゲートが閉められ、リアワイパーが作動していないこと。また、テールゲートを開けた状態で、シフトを「P」位置から動かすと、警告音が発せられます。● アウタードアハンドル使用の場合、チャイルドロック解除の必要はありませんが、その他の条件はインナードアハンドルと同様です。

■ テールゲートも、より大きく、使いやすく。

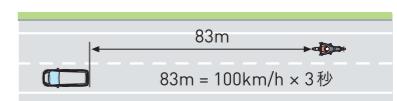
大開口と低床がもたらすメリットをベースに、テールゲートならではの使い勝手のさらなる向上をめざしました。開口部の拡大にともない、上下方向に180mm拡大。下部にはバンパーの代わりとなる樹脂製ガーニッシュを施しました。ほぼ中央に設けたサブドア用のドアヒンジも、出っ張りなく、すっきりと仕上げ、外観上ヒンジの存在を感じさせません。



■ サブドアと後方視界確保の両立。

● サブドア用の極細ピラー

テールゲートガラス内に配したピラーの幅は極細の68mmに。この数値は、100km/h差で走行する後続車の接近を3秒前には発見できるという、独自基準のもとに導き出したもの。実際のテストでも、83m後ろの二輪車のヘッドライトがリアビューミラーで視認できることを確認しています。



● 2面同時払拭リアワイパー

雨天時の後方視界を確保するため、サブドアの見切り部分を横切り、左右2面を同時に払拭できるワイパーに。見切り部分を横切る際の摩耗による拭き筋が出にくい、シリコンワイパープレードを採用。またガラスは撥水ガラスとしています。

